

4, 5月のみごろの花・生きもの

草花



カンサイタンポポ (関西蒲公英)
キク科 / 3月末～受粉に昆虫が必要な在来種



ニオイタチツボスミレ (匂立坪堇)
スミレ科 / 4月上旬～香りのよい山地のスミレ



シュンラン (春蘭)
ラン科 / 4月上旬～林床にひっそりと咲く



ワラビ (蕨)
コバノイシカグマ科 / 4月上旬～草地の山菜



ミツバツチグリ (三葉土栗)
バラ科 / 4月上旬～地面に広がって咲く



ヒメハギ (姫萩)
ヒメハギ科 / 4月下旬～ハギに似て小さな花から



ウマノアシガタ (馬の脚形)
キンボウゲ科 / 4月下旬～光沢あるカップ状の花



ニガナ (苦菜)
キク科 / 5月上旬～茎には苦味ある白い乳液が



ミヤコグサ (都草)
マメ科 / 5月中旬～畦や道端に咲く親しみある花

樹木



ヤマザクラ (山桜)
バラ科 / 4月初旬～春の陽に浮かび咲く



ハナモモ (花桃)
バラ科 / 4月上旬～民家から愛でられる白桃



コバノミツバツツジ (小葉の三葉躑躅)
ツツジ科 / 4月上旬～春のツツジのトップランナー



カスミザクラ (霞桜)
バラ科 / 4月中旬～山肌に霞む遅咲きの桜



ヤマツツジ (山躑躅)
ツツジ科 / 4月中旬～朱赤眩しい林縁のツツジ



シロバナウンゼンツツジ (白花雲仙躑躅)
ツツジ科 / 4月下旬～小花清楚な崖地のツツジ

四月旧称 二十四節気 七十二候

卯月

清明

穀雨

玄鳥至／つばめきたる
鴻雁北／こうがんきたへかえる
虹始見／にじはじめてあらわる
葭始生／あしはじめてしょうず
霜止出苗／しもやんでなえいづる
牡丹華／ぼたんはなさく

五月旧称 二十四節気 七十二候

皐月 立夏

小満

蛙始鳴／かわずはじめてなく
蚯蚓出／みみずいづる
竹笋生／たけのこしょうず
蚕起食桑／かいこおきてくわをはむ
紅花榮／べにばなさかう
麦秋至／むぎのときいたる

樹木



クヌギ (櫟)

ブナ科／4月中旬～春風になびく風媒花



マルバアオダモ (丸葉青栂)

モクセイ科／4月下旬～材は軽くて粘り強い



ウワミズザクラ (上溝桜)

バラ科／4月下旬～花はアズキに似た香り



モチツツジ (鵜躑躅)

ツツジ科／4月末～ツツジリレーのラストを彩る



ミヤマガズミ (深山莢蒾)

レンブクソウ科／4月下旬～林縁に咲く清楚な花



イヌザクラ (犬桜)

バラ科／5月初旬～忘れた頃咲く涼しげな桜



アリマグミ (有馬菜萸)

グミ科／5月上旬～有馬で発見された郷土種



エゴノキ (野茉莉)

エゴノキ科／5月中旬～実は有毒のサボニンガ



スダジイ (すだ椎)

ブナ科／5月中旬～開花の様は遠くからも目立つ

動物



テングチョウ (天狗蝶)

タテハチョウ科／成虫で越冬し早春より現る



キアゲハ (黄揚羽)

アゲハチョウ科／幼虫はセリ科植物を食草に



ニホンアマガエル (日本雨蛙)

アマガエル科／冬眠から目覚め姿を現した



シュレーゲルアオガエル (～青蛙)

アオガエル科／早春より鳴けど姿見えず



カワラヒワ (河原鶉)

アトリ科／飛びと目立つ黄斑とキリコロコの声



キビタキ (黄鶉)

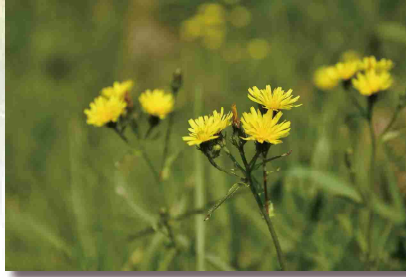
ヒタキ科／子育てのため春に渡って来る

6, 7月のみごろの花・生きもの

草花



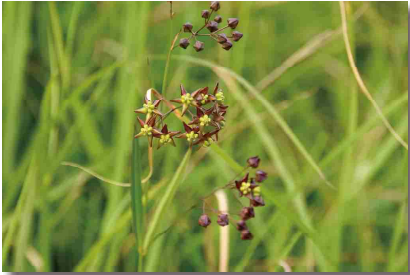
ノアザミ (野薊)
キク科 / 5月中旬～夏まで遅く咲き続ける



コウゾリナ (髮剃菜)
キク科 / 5月中旬～茎や葉には剛毛が



シライトソウ (白糸草)
シロソウ科 / 5月下旬～林床にそっと開花



スズサイコ (鈴柴胡)
ガガイモ科 / 6月初旬～星型のいじらしい花



ドクダミ (葎草)
ドクダミ科 / 6月上旬～十葉の異名をもつ薬草



ササユリ (笹百合)
ユリ科 / 6月中旬～初夏の里山に香るユリ



オカトラノオ (丘虎の尾)
サクラソウ科 / 6月中旬～草地に開花



ウツボグサ (靱草)
シソ科 / 6月下旬～真夏に花穂が枯れ夏枯草とも



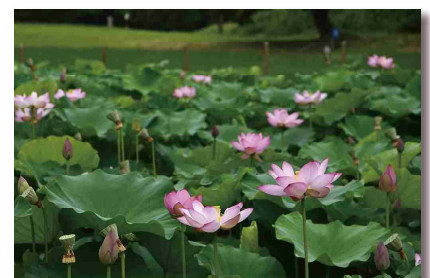
ヤブカンゾウ (菽荳草)
ユリ科 / 7月上旬～夏の畦を彩る橙赤色の花



ヌマトラノオ (沼虎尾)
サクラソウ科 / 7月上旬～湿地に開花



コオニユリ (小鬼百合)
ユリ科 / 7月下旬～うつむき立つ夏の花



ハス (蓮)
ハス科 / 7月下旬～美しい花の下にはレンコンが

樹木



コガクウツギ (小萼空木)
アジサイ科 / 5月中旬～林床の日陰で開花



ウツギ (空木)
アジサイ科 / 5月下旬～“卵の花”とも



ムラサキシキブ (紫式部)
シソ科 / 6月中旬～実は紫でも花は淡桃色

六月旧称 二十四節気 七十二候

水無月 芒種
夏至

蜻蛉生／かまきりしょうず
腐草為螢／くされたるくさほたるとなる
梅子黄／うめのみきばむ
乃東枯／なつかれくさかるる
苜蒲華／あやめはなさく
半夏生／はんげしょうず

七月旧称 二十四節気 七十二候

文月 小暑
大暑

温風至／あつかぜいたる
蓮始開／はすはじめてひらく
鷹乃学習／たかすなわちわざをならう
桐始結花／きりはじめてはなをむすぶ
土潤溽暑／つちうるおうてむしあつし
大雨時行／たいうときどきふる

樹木



アリマグミ (有馬茱萸)
グミ科／6月～赤い実は鳥が好みます



クマノミズキ (熊野水木)
ミズキ科／6月中旬～乳白色の花は雪のよう



クリ (栗)
ブナ科／6月～クリーム色の花は独特の匂い



ヤマモモ (山桃)
ヤマモモ科／7月上旬～あいな里山のシンボル



ネムノキ (合歓木)
マメ科／7月上旬～夜になると葉を閉じ眠る



リョウブ (令法)
リョウブ科／7月中旬～昔は救荒植物だったそう

動物



コムスジ (小三條)
タテハチョウ科／クズ等が食草のタテハチョウ



ミヤマカラスアゲハ (深山烏揚羽)
アゲハチョウ科／食樹はカラスザンショウ等



ハグロトンボ (羽黒蜻蛉)
カワトンボ科／川辺にひらひらと飛ぶ黒い翅



トノサマガエル (殿様蛙)
アカガエル科／水田に水が入るころ繁殖期を迎えます



ニホンヒキガエル (日本蟾)
ヒキガエル科／雨の日に出会うことが多い



ヒグラシ (蝸)
セミ科／夏の林に響くカナカナ…の合唱
写真協力：今給黎 靖夫



ノギリクワガタ (鋸锹形)
クワガタムシ科／クヌギなど広葉樹の樹液に集まる



イノヒヨドリ (磯鶇)
ツグミ科／美声でさえずりながら飛翔します
写真協力：日本野鳥の会ひょうご 北野 光良



ホトトギス (杜鵑)
カッコウ科／聞きなしは“テッペンカケタカ”
写真協力：日本野鳥の会ひょうご 松里 和太

8, 9月のみごろの花・生きもの

秋の野に 咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種の花 / 萩の花 尾花 葛花 なでしこの花 をみなへし また藤袴 朝顔の花 <万葉集 山上憶良>

草花



キキョウ (桔梗)

キキョウ科 / 7月~万葉集で朝顔と詠まれた花



センニンソウ (仙人草)

キンポウゲ科 / 8月~野生のクレマチス



キツネノカミソリ (狐剃刀)

ヒガンバナ科 / 7月下旬~畦を彩る彼岸花の仲間



オグルマ (小車)

キク科 / 8月~昆虫たちを集める湿地の花



ミソハギ (禊萩)

ミソハギ科 / 8月上旬~湿地に咲くお盆の供花



オトギリソウ (弟切草)

オトギリソウ科 / 8月上旬~止血効果のある薬草



セリ (芹)

セリ科 / 8月~春の七草も夏に花



イネ (稲)

イネ科 / 8月中旬~小さな花からお米に



タコノアシ (蛸の足)

タコノアシ科 / 8月下旬~花序や実の形からの名称



サワヒヨドリ (沢鶉)

キク科 / 9月~湿地を彩る藍那のフジバカマ?!



オミナエシ (女郎花)

スイカズラ科 / 8月下旬~黄色眩しい秋の七草



ゲンショウコ (現の証拠)

フウロソウ科 / 9月~道端に咲く優れた整腸生薬



ツリガネニンジン (釣鐘人參)

キキョウ科 / 9月~秋の野にうつむいて咲く



ヒガンバナ (彼岸花)

ヒガンバナ科 / 9月中旬~畦を彩る曼珠沙華



シラヤマギク (白山菊)

キク科 / 9月中旬~まばらに咲く頭花は野趣に富む

八月旧称

二十四節気 七十二候

葉月

立秋

涼風至／すずかぜいたる
 寒蟬鳴／ひぐらしなく
 蒙霧升降／ふかききりまとう
 綿柎開／わたのはなしべひらく
 天地始肅／てんちはじめてさむし
 禾乃登／こくものすなわちみのる

九月旧称 二十四節気 七十二候

長月 白露

草露白／くさのつゆしろし
 鶺鴒鳴／せきれいなく
 玄鳥去／つばめさる
 雷乃収声／かみなりすなわちこえをおさむ
 蟄虫坏戸／むしかくれてとをふさぐ
 水始涸／みずはじめてかる

処暑

秋分

樹木



カラスザンショウ (烏山椒)
 ミカン科／7月下旬～葉は蝶を実は鳥を呼び



クサギ (臭木)
 シソ科／7月下旬～花はアゲハチョウ類を呼び



ヌルデ (白膠木)
 ウルシ科／8月～虫こぶはお歯黒用の黒色染料



クリ (栗)
 ブナ科／9月～縄文の昔から食される秋の味覚



マルバハギ (丸葉萩)
 マメ科／9月～花は葉にうずもれるように咲く



ツクシハギ (筑紫萩)
 マメ科／9月～マルバハギに比べて花序が長い

動物



ショウジョウトンボ (猩々蜻蛉)
 トンボ科／猩々のように真っ赤なとんぼ



リスアカネ (りす茜)
 トンボ科／林内のため池に現れる赤とんぼ



ヒメウラナミジャノメ (姫裏波蛇目)
 タテハチョウ科／草の上をフワフワ飛び目玉模様



ショウリョウバッタ (精霊蝗虫)
 バッタ科／旧盆(精霊祭)のころに現れることから



ツマグロイナゴ (棲黒稲子)
 バッタ科／湿った草原を好む大型のバッタ



アシグロツユムシ (脚黒露虫)
 キリギリス科／林縁の草木の上で生活している



ヤマトタマムシ (大和玉虫)
 タマムシ科／Jewel beetleと呼ばれる美しい甲虫



ハチクマ (蜂熊)
 タカ科／ハチ類を主食とする勇壮なタカ



オオルリ (大瑠璃)
 ヒタキ科／秋の移動期、木の実を食べに集まる

10, 11 月のみごろの花・生きもの

草花



ワレモコウ (吾亦紅)
バラ科 / 9月～風に揺れる花序は秋の風情



セトウチホトトギス (瀬戸内杜鵑草)
ユリ科 / 9月下～鳥の朴ノギスの羽模様に見立てた



ミゾソバ (溝蕎麦)
タデ科 / 9月下～別名ウシノヒタイ、湿地に群生



イヌタデ (犬蓼)
タデ科 / 9月下～畦を染める“あかまんま”



ヤマハッカ (山薄荷)
シソ科 / 9月下～山に咲く薄荷の意だが香りはない



タコノアシ (蛸の足)
タコノアシ科 / 10月～赤い実は蛸の足そっくり



リンドウ (竜肝)
リンドウ科 / 10月～花は陽を受けて開く



センブリ (千振)
リンドウ科 / 10月～千回振出してもまだ苦い胃薬



リュウノギク (竜腦菊)
キク科 / 10月下～葉をもむと樟腦のような香り



ヤクシソウ (薬師草)
キク科 / 10月下～遠くからも目を引く晩秋の黄菊



ススキ (芒、薄)
イネ科 / 10月～茅葺屋根の主材料、尾花とも



コウヤボウキ (高野箒)
キク科 / 10月～林縁を彩る落葉小低木

樹木



コバナガズミ (小葉莢蒾)
スイカズラ科 / 9月下～花、実とも美しい林縁木



ツリバナ (吊花)
ニシキギ科 / 9月下～長い花柄にぶらさがる赤い実



クサギ (臭木)
シソ科 / 10月～赤い萼に瑠璃色の実は染料に

十月旧称 二十四節気 七十二候

神無月 寒露
霜降

鴻雁来 / こうがんきたる
菊花開 / きくのはなひらく
蟋蟀在戸 / きりぎりすとにあり
霜始降 / しもはじめてふる
露時施 / こさめときどきふる
楓蔦黄 / もみじつたきばむ

十一月旧称 二十四節気 七十二候

霜月 立冬
小雪

山茶始開 / つばきはじめてひらく
地始凍 / ちはじめてこおる
金盞香 / きんせんかさく
虹蔵不見 / にじかくれてみえず
朔風払葉 / きたかぜこのをはらう
橘始黄 / たちばなはじめてきばむ

樹木



アキグミ (秋茱萸)

グミ科 / 11月~初め渋いが熟すと甘酸っぱい



カマツカ (鎌柄)

バラ科 / 10月~折れにくい材は道具の柄とされた



カキノキ (柿の木)

カキノキ科 / 地元ではクボガキと呼ぶ小さな甘柿



イロハモミジ (いろは紅葉)

ムクロジ科 / 11月下~古くに植えられた紅い大木



タカノツメ (鷹の爪)

ウコギ科 / 11月下~黄葉の林を歩くと甘い香り



コナラ (小楢)

ブナ科 / 11月下~晩秋、雑木林は橙色に燃える

動物



アサギマダラ (浅葱斑)

タテハチョウ科 / 秋、南の島へと海を渡る蝶



ヒメアカタテハ (姫赤立羽)

タテハチョウ科 / キク科草本が主な食草



ヒメアカネ (姫茜)

トンボ科 / 陽だまりの湿地に止まったカップル



オオカマキリ (大蟬螂)

カマキリ科 / メスは産卵のあと最期を迎える



ニホンアカガエル (日本赤蛙)

アカガエル科 / 草むらや湿地、明るい林にすむ



ムギマキ (麦蒔)

ヒタキ科 / 10月、麦を蒔くころ姿を見せる旅鳥



ジョウビタキ (靱鶉)

ヒタキ科 / 開けたところを好む冬鳥



ルリビタキ (瑠璃鶉)

ヒタキ科 / 森にすむ青い冬鳥



カヤネズミ (萱鼠)

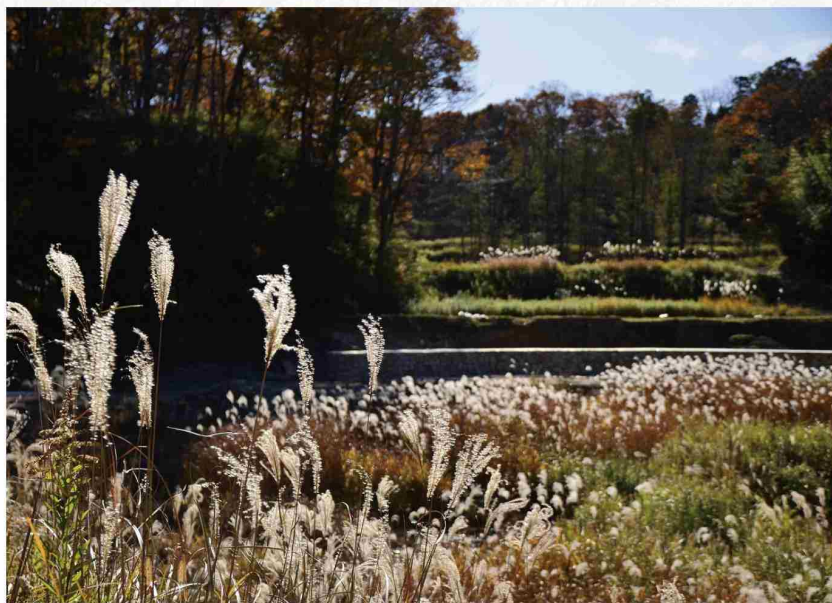
ネズミ科 / ススキ等に営巣する日本最小のネズミ

12, 1, 2 月のみごろの花・生きもの

草花



スズサイコ (鈴柴胡)
ガガイモ科/真っ白で羽毛のようなふわふわの種



ススキ (薄、芒) とオギ (荻) の草原
イネ科/ススキは乾いた場所を好むが、オギはやや湿気た場所を好む



ナガバジャノヒゲ (長葉蛇の鬚)
キジカクシ科/ラピスラズリのように輝く青い実



ヒガンバナ (彼岸花)
ヒガンバナ科/青々とした葉で冬の陽を独り占め



ハハコグサ (母子草)
キク科/ゴギョウの名で呼ばれる春の七草



ニホンズイセン (日本水仙)
ヒガンバナ科/1月~寒中に咲く芳香ある花

樹木



あいな里山 雪の景
雪降り積もる柿 一面の銀世界が見られる冬は稀



ヤブコウジ (藪柑子)
サクラソウ科/別名“十両” 林内に生える縁起物



サルトリイバラ (猿捕茨)
サルトリイバラ科/葉は柏餅に実はリースに

十二月旧称 師走	二十四節気 大雪	七十二候 閉塞成冬 <small>フそらさむくふゆとなる</small> 熊蟄穴 <small>くまあなほごもる</small> 鰻魚群 <small>うなぎの群おむらがる</small> 乃東生 <small>なつがくれくきしよみず</small> 麋角解 <small>おおしかのつのかつる</small> 雪下出 <small>ゆきわたりでまきいづる</small>	一月旧称 睦月	二十四節気 小寒	七十二候 芹乃菜 <small>せりすなわかさかな</small> 水泉動 <small>しみずあたたかさをよくむ</small> 雉始雊 <small>きじはじめてをく</small> 款冬華 <small>くきのはなさむ</small> 水沢腹堅 <small>みづあはすこかりつめる</small> 鶉始乳 <small>うすはじめてむやにつく</small>	二月旧称 如月	二十四節気 立春	七十二候 東風解凍 <small>ひたちかりをとる</small> 黄鶯睨睨 <small>うぐいすをのぞく</small> 魚上氷 <small>うおこねりをいする</small> 土脉潤起 <small>つちのしよけつるおこる</small> 霰始隕 <small>がやみはじめたをびく</small> 草木萌動 <small>そうもくめはえりする</small>
--------------------	--------------------	--	-------------------	--------------------	---	-------------------	--------------------	--

樹木



ムラサキシキブ (紫式部)
シソ科/平安の才女に例えられた艶やかな実



ヤマコウバシ (山香ばし)
クスノキ科/冬に葉を落とさない香気ある落葉樹



モチツツジ (躑躅)
ツツジ科/冬の紅葉が見事な半落葉樹



ソヨゴ (冬青)
モチノキ科/そよそよと風の音色を奏てる葉



ヤブツバキ (薔椿)
ツバキ科/1月~照葉樹林を代表する鳥媒花



ウメ (梅)
バラ科/2月~うめ林には花梅と実梅があり

動物



オオムラサキ (大紫) 幼虫
タテハチヨウ科/エノキを食樹とし、落ち葉で越冬



オオカマキリ (大蠟螂) 卵鞘
カマキリ科/200個ほどの卵が入った鞘で越冬



ニホンアカガエル (日本赤蛙) 卵嚢
アカガエル科/1月~凍れる池でじっと春を待つ



カシラダカ (頭高)
ホオジロ科/冬の野辺で冠羽を立てて餌探し



ツグミ (鶉)
ヒタキ科/冬空を切り裂くキョキキョの声



シメ (鴿)
アトリ科/強力なくちばしで種子を割る



オシドリ (鴛鴦)
カモ科/木陰の水辺にひっそりとカラフルな羽



ノスリ (鴞)
タカ科/樹上からネズミや昆虫類を狙う



ニホンイノシシ (日本猪) 足跡
イノシシ科/雪の朝の楽しみは足跡ウォッチング

3月のみごろの花・生きもの

【二十四節気 啓蟄 - 春分】

草花



フキノトウ (蔭の薑)
キク科/フキの花茎は香り高くほろ苦い春の山菜



ツクシ (土筆) 《スギナ (杉菜)》
トクサ科/胞子茎と栄養茎をもつシダ植物



ヤブカンゾウ (薺萱草)
ユリ科/別名ワスレグサ、若葉は甘く食用に

樹木



アセビ (馬酔木)
ツツジ科/馬もその毒に酔いふらつくそう



シキミ (密)
マツバサ科/「抹香臭い」香りある仏前の花



モモ (桃)
バラ科/もも林には白、紅、ピンクと咲く



ヤマウグイスカグラ (山鶯神楽)
スイカズラ科/早春にうつむき咲く淡紅色の花



キブシ (木五倍子)
キブシ科/淡黄色の花はかんだしのような



クロモジ (黒文字)
クスノキ科/森の香りのする高級つまようじ

動物



ルリタテハ (瑠璃立羽)
タテハチョウ科/成虫で越冬し、春一番に飛び始める



ツチイナゴ (土蝗)
イナゴ科/枯れ草色で成虫越冬するバッタ



カスミサンショウウオ (霞山椒魚)
サンショウウオ科/早春に畦みぞで産卵、孵化



ニホンアカガエル (日本赤蛙) 幼生
アカガエル科/冷たい水辺で一早くオタマとなる



ウグイス (鶯)
ウグイス科/高らかに春を告げるやぶの小鳥



ツバメ (燕)
ツバメ科/南国から戻り巣作りを始める